

午後二時十八分前後 日没頃の暗さになる

あす覆面の太陽と當地方

「黒い太陽」の世
面太陽と世
界天文学界注目
の焦点となつて
ゐる。皆既日食は
愈よあすに迫つ
た。部分食となつて仰ぎ見
ることの出来る地方ではア
マチュア天文ファンが之を
絶好のチャンスと手具整引
いてゐる。地方で太陽が彫
り始める時刻は午後二時十
八分この瞬間、今まで完全
に丸かつた太陽は右下から
黒く映け始めちよつと黒點
の如く月影に隠れる
斯くて太陽は右下から左
上部に向つて漸次黒色
(食分)に變じて行き、午後
一時の三回及びそれより
基時は太陽面の約八割ま
で月の黒影に隠され、
六、七時頃日没前後の暗
さになる。此時太陽と月の
距離は一番近い、斯くて

天空異變

午後四時三十分に至るま
で黒い太陽面を覆つて居る
月の黒影は、紫等の色ガラス
の間に、抜けて太陽は平常
の如く輝き、此の部風情一
時曇り、と云ふ事
分食中の太陽を眺めるには
暗闇がマツチ、或は墨黒
此瞬間の位置は北極から九
折角の観測も要される事
十五度の角度に當り、此間
地上には大した影響は起ら
ないに、豫想される、此の部
分食中の太陽を眺めるには
暗闇がマツチ、或は墨黒

氣象異變の觀測

あすの小名濱測候所

右に關し小名濱測候所には
天文觀測の設備は無いが、
之に因つて生ずる氣象異變
を知る爲正午、零時三十分
（食分）に變じて行き、午後
一時の三回及びそれより
基時は太陽面の約八割ま
で月の黒影に隠され、
六、七時頃日没前後の暗
さになる。此時太陽と月の
距離は一番近い、斯くて

漸く動き始める 鐵道代議士補選

来る卅日平機關庫で執行

判任官以下の現場事務員の
選挙は来る三十日同庫に於
て執行される。前同定員二
千五百員と云ふ大掛りな
選挙は昨年八月執行の處に
今更から年度報告その他の
都合で来る三月行はれるこ
となつた。東鐵管内第八十
六區第二十四部機關庫選
並に高松分庫同機關庫選
柴田良一氏任官に補缺する

平少年團に 後援會計具体化

近く健兒父兄が協議

去る七日中央より聯理事
長二荒芳徳伯を迎へて正式
に結成式を挙げた平少年團
は、この盛典を機として、
更に一段の陣容整齊に精
進し大に今後の有意義な活
動を期待されてゐるが最近
父兄有志間に於てもこの集

神白トンネル

工費三萬圓を投じ 掘削り工事に着手

小名濱、江名間線道にある
神白トンネルは腐朽甚しく
従來降雨毎に潰潰して交通
に危険少なくなつたが、愈
々工費三萬圓、東北振興會
の補助で掘削り工事に着手
する事となり、明十九日か
ら縣土木課木村技師が實測
に着手する

湧き返る大人氣に 超満員は既定の事實

平花柳界總進軍の夕迫る

平藝妓屋組合が「仙台には
及ばぬが水戸などは負け向
度くない、少くとも縣下で
一番だらう」との豪言を
いひ、第二回藝妓演進會は
旬日間に迫つたが、概算
二千五百員と云ふ大掛りな
演進會は各方面の反響大
きく、今更から年度報告
の都合で来る三月行はれる
こととなつた。東鐵管内第
八十六區第二十四部機關
庫選並に高松分庫同機關庫
選柴田良一氏任官に補缺

倶楽部 部樂俱

平町マ
ン同好者
の間で此
程
ノリド
ンマ
部樂俱
部樂俱
部樂俱

手間はありものとし 轉び込む四十三兩!

養蠶家一戸當りの儲け高

夏蠶掃立は
早くも準備に着手
春蠶の出廻りが過ぎると
夏蠶の準備に忙しいが、
同所提出の少年身買り所
の「關東賣り」の防止策
としては、近々本格的な
養蠶家一戸當りの儲け高
が、この分で行けば大体
平均四五十
錢位に落ちるとは、大體
平均四五十
錢位に落ちるとは、大體
平均四五十
錢位に落ちるとは、大體

出荷俄然激増す 五圓台堅持

四倉市場

高値の聲に煽られて昨十七
日の四倉市場は出荷八百七
十六貫(白蠶)にも相當
はつた、相場左の如く依然
五圓高を堅持してゐる

除隊兵の斡旋と 「關東賣り」防止

平職業紹介所奔走

若松隊を除隊する求
職兵八十名中部内出身の
十八名(七月除隊十名、
十一月同八名)に對して
個々に面接をなした。除
隊上の打合せを行つた
除隊兵の斡旋に關し
に乘り出す迄更生資金を
貸與する事と決定、来る
七月二十一日の二回に亘

會社から損害金 錦のガス問題解決

水田百町歩に千三百圓

既報一錦村昭和入籍工場
被審問題は同村江東部居民
代表が此程會社側に對し
五千元
を要求したが、昨十
七日午後六時更に第二次交
渉を進めた結果結局千三百
圓で圓滑解決を見た

三井タクシ 電話六八五番

宿料踏倒し 東京市
に捕はれた
して逃走したが十六日平
に捕はれた

大至急 會員募集

上原家政婦會

電話二二二番

實家、静岡産地、茶問屋 卸小賣大角園

製産家カラ直接需用家へ
香味自慢生一本小笠銘茶
安價提供出来ル皆様ノ店
買テ喜ビ賣テ喜ブ理想ノ店
電話二二二番

安齋外科醫院

院長 高久 忠
平町田町電五二三
電話四七五番

高久病院

院長 高久 忠
平町田町電五二三
電話四七五番

夏服の京吳服とうすもの

最も新しい柄の
中形、ジョゼット、紅梅
織や流行の絞りが山と散
り込んで居ります。單帯
まして若様を御待致し
居ります。

父丹野榮三郎儀病氣の處療養不相 叶昨十六日午後八時死去付候間此 段謹告申上候

追而葬儀は六月二十日午後二時自宅
出棺大館青雲院に於て佛式により相登可
申候
昭和十一年六月十七日
親戚 本善 同吉

大和田醫院

電話一七〇番